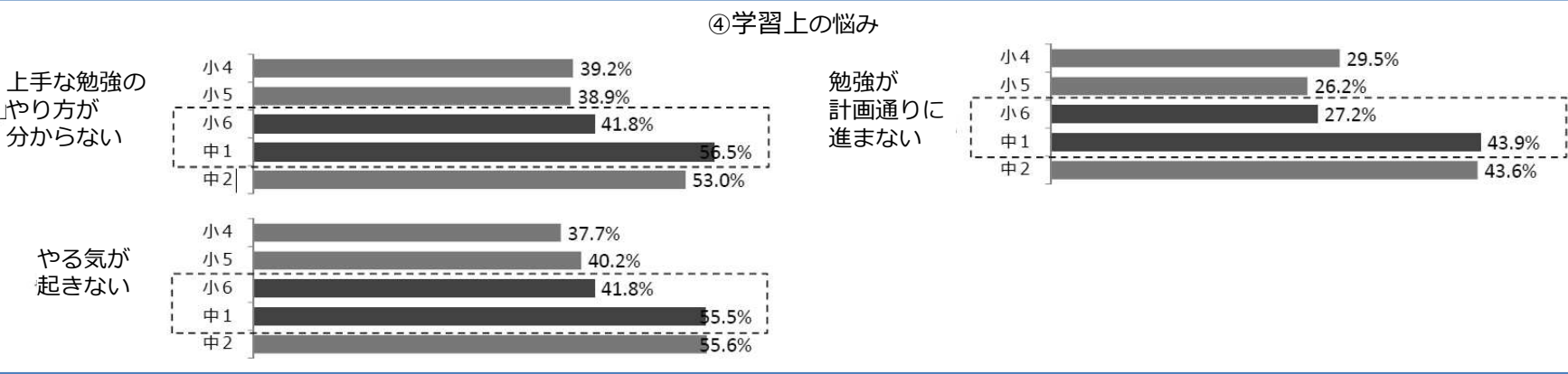
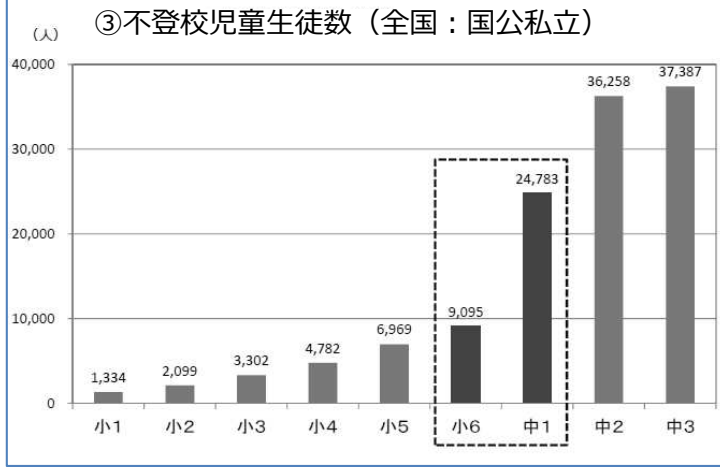
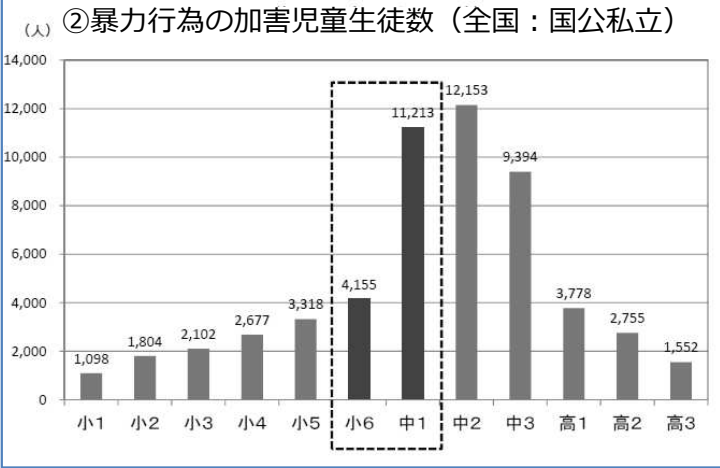
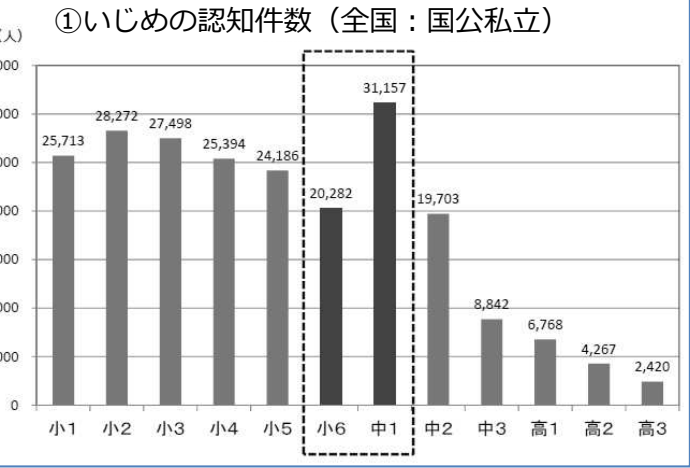


## 背景

- ①小中学校の教育内容や学習活動の質的・量的な拡大
- ②児童生徒の発達の早期化
- ③いわゆる「中1ギャップ」(※)
- ④社会性を育む場としての学校の役割の増大

### ※中1ギャップとは

小学生から中学1年生になったことがきっかけとなり、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが増加するという現象



出典  
 ①平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 (文部科学省)  
 ②同上  
 ③小中学生の学びに関する実態調査 (2014年) (ベネッセ教育総合研究所)  
 ④同上

学校の設置状況

○設置予定

	義務教育 学 校	小中一貫型 小・中学校	
		併設型	連携型
平成28年度 (設置済み)	22校	165件	0件
平成29年度	26校	88件	0件
平成30年度	25校	152件	1件
令和元年度	9校	56件	0件
令和2年度	7校	47件	1件
令和3年度	6校	11件	0件
令和4年度	2校	0件	0件
令和5年度以降	3校	6件	0件
合計	100校	525件	2件

○施設形態

	義務教育 学 校	小中一貫型 小・中学校 (併設型)
施設一体型	86% (86)	20% (115)
施設隣接型	7% (7)	11% (66)
施設分離型	5% (5)	68% (399)
検討中・未定	2% (2)	1% (4)

○教育課程特例の導入状況

	義務教育 学 校	小中一貫型 小・中学校 併設型
小中一貫教科等の設定	35% (35)	40% (231)
小学校の段階及び中学校段階における各教科等の内容のうち相互に関連するもの入替	4% (4)	5% (27)
小学校段階の指導内容の中学校段階への後送り移行	0% (0)	1% 未満 (3)
中学校段階の指導内容の小学校段階への前倒し移行	16% (16)	5% (31)
小学校段階における学年間の指導内容の後送り又は前倒し移行	10% (10)	2% (13)
中学校段階における学年間の指導内容の後送り又は前倒し移行	6% (6)	2% (13)
現在検討中・未定	52% (52)	47% (276)
上記の実施予定はない	18% (18)	20% (119)

出典「小中一貫教育の導入状況調査(調査時点 平成29年3月1日)」

小中一貫教育の実施状況と今後の予定

○実施状況(複数回答可能)

小中一貫教育を実施している	14% (249)
小中連携教育を実施している	72% (1254)
いずれも実施していない	19% (341)

○今後の予定

小中一貫教育を実施している市区町村(249)	既に域内全域で実施している		55% (140)
	現在は一部の学校で実施しているが、段階的に域内全域での実施を予定		14% (30)
	域内全域での実施の適否については、検討中		6% (15)
	現在は一部の学校で実施しているが、モデル校での実施を踏まえた後、域内全域での実施の適否を検討予定		5% (12)
	一部の学校での実施を継続する予定		20% (52)

小中一貫教育を実施していない市区町村(1,500)	平成29年度から実施予定		2% (31)
	平成30年度以降の実施を検討中		10% (143)
	検討に着手する予定		10% (151)
	他市町村の導入状況を注視している		20% (300)
	現時点で検討の予定はない		58% (875)

○導入の形態

域内全域での一斉導入を予定	31% (54)
段階的に域内全域での導入を予定	15% (26)
モデル校での実施を踏まえた後、域内全域での実施の適否を検討予定	21% (36)
域内の一部の学校で実施する予定	27% (47)
検討中・未定	6% (11)

出典「小中一貫教育の導入状況調査(調査時点 平成29年3月1日)」

	成果	課題
総合的な評価	<p>大きな成果が認められる（23%）            成果が認められる（76%）</p>	<p>大きな課題が認められる（3%）            課題が認められる（50%）</p>
学習指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律・生活規律の定着が進んだ（92%）</li> <li>・学習習慣の定着が進んだ（81%）</li> <li>・学習意欲が向上した（80%）</li> </ul> <p>（上位3件抜粋）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発（43%）</li> <li>・児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保（41%）</li> <li>・年間行事予定の調整・共通化（38%）</li> </ul> <p>（上位3件抜粋）</p>
生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校への進学に不安を覚える児童が減少した（96%）</li> <li>・上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった（94%）</li> <li>・下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった（93%）</li> <li>・いわゆる「中1ギャップ」が緩和された（93%）</li> <li>・児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた（91%）</li> </ul> <p>（割合90%以上抜粋）</p>	
教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校共通で実践する取組が増えた（98%）</li> <li>・小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった（97%）</li> <li>・小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった95%）</li> <li>・小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった94%）</li> <li>・教員の指導方法の改善意欲が高まった（92%）</li> <li>・小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった（91%）</li> </ul> <p>（割合90%以上抜粋）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保（64%）</li> <li>・教職員の負担感・多忙感の解消（64%）</li> <li>・小中合同の研修時間の確保（53%）</li> </ul> <p>（上位3件抜粋）</p>
その他、 学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との協働関係が強化された（80%）</li> <li>・保護者の学校への満足度が高まった（76%）</li> <li>・保護者との協働関係が強化された（74%）</li> </ul> <p>（上位3件抜粋）</p>	-

	成果	課題
総合的な評価	<p>大きな成果が認められる（23%）            成果が認められる（76%）</p> <p style="text-align: right;">（参考資料P参照）</p>	<p>大きな課題が認められる（3%）            課題が認められる（50%）</p> <p style="text-align: right;">（参考資料P参照）</p>
学習指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習規律・生活規律の定着が進んだ（92%）</li> <li>・ 学習習慣の定着が進んだ（81%）</li> <li>・ 学習意欲が向上した（80%）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（上位3件抜粋 参考資料P参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発（43%）</li> <li>・ 児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保（41%）</li> <li>・ 年間行事予定の調整・共通化（38%）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（上位3件抜粋 参考資料P参照）</p>
生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校への進学に不安を覚える児童が減少した（96%）</li> <li>・ 上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった（94%）</li> <li>・ 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった（93%）</li> <li>・ いわゆる「中1ギャップ」が緩和された（93%）</li> <li>・ 児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた（91%）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（割合90%以上抜粋 参考資料P参照）</p>	
教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中学校共通で実践する取組が増えた（98%）</li> <li>・ 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった（97%）</li> <li>・ 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった95%）</li> <li>・ 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった94%）</li> <li>・ 教員の指導方法の改善意欲が高まった（92%）</li> <li>・ 小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった（91%）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（割合90%以上抜粋 参考資料P参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保（64%）</li> <li>・ 教職員の負担感・多忙感の解消（64%）</li> <li>・ 小中合同の研修時間の確保（53%）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（上位3件抜粋参考資料P参照）</p>
その他、 学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との協働関係が強化された（80%）</li> <li>・ 保護者の学校への満足度が高まった（76%）</li> <li>・ 保護者との協働関係が強化された（74%）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（上位3件抜粋 参考資料P参照）</p>	-